

近 畿 地 方 整 備 局
資 料 配 布

発表日時	平成 1 6 年 8 月 4 日
	1 4 時

件 名	平成 1 6 年度の社会実験実施地域の追加について 近畿で新たに 4 地域の社会実験に着手
-----	---

概 要	国土交通省では、平成 1 6 年度社会実験について、既に発表した 2 3 地域に加え、新たに、「オープンカフェ等地域主体の道活用に関する社会実験」、「路上工事縮減等に関する社会実験」の 2 テーマに対応する 6 地域において、実験実施に向けた準備・調整が完了したため、社会実験の支援に着手します。 そのうち近畿地方では「オープンカフェ等地域主体の道活用に関する社会実験」のテーマに対応する大阪市の「御堂筋にぎわい空間づくり社会実験」他 2 地域で、また「路上工事縮減等に関する社会実験」のテーマに対応する 1 地域において社会実験の支援に着手します。 社会実験は、既存制度の大幅な見直しを伴う、抜本的かつ斬新的な施策について、当該施策を本格実施に移行する際、事前に効果や影響を確認するため、場所と期間を限定して試行・評価するもので、国土交通省では、新しい施策の導入に向けた社会実験を推進しています。 平成 1 1 年度から平成 1 5 年度までに、「道路空間の使い方」や「公共交通の利用促進」などのテーマについて 6 5 件の社会実験を実施し、このうち 2 7 件は実験により試行した施策が本格導入もしくは一部導入されています。
-----	--

取 り 扱 い	テレビ・ラジオ : _____ 新 聞 : _____
---------	---

配 布 場 所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
---------	----------------------------------

問い合わせ先	道路部 道路計画第二課 課長補佐 大森 卓哉 (内線 4 2 5 2) 道路管理課 課長補佐 藤本 善博 (内線 4 4 1 3) 電話 : 0 6 - 6 9 4 2 - 1 1 4 1 (代表)
--------	--

平成 16 年度 社会実験実施地域一覧（追加実施地域）

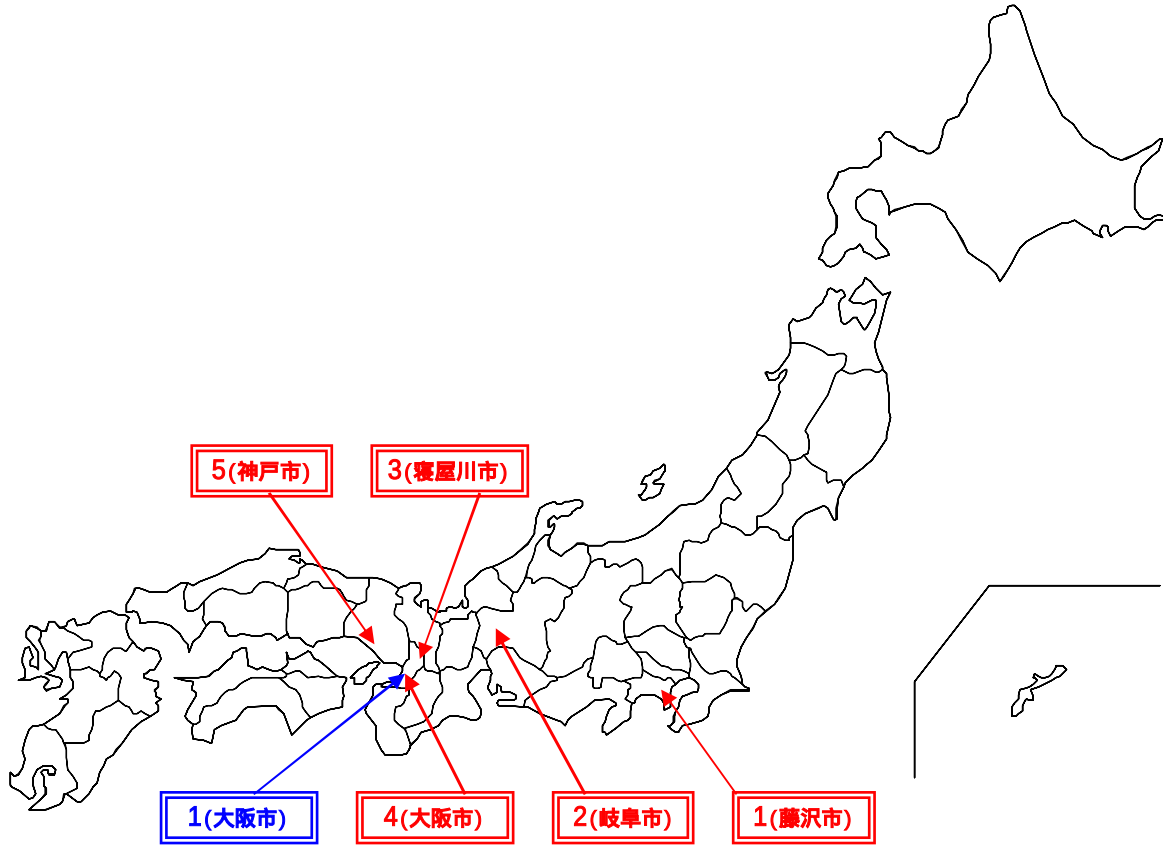
(1) オープンカフェ等地域主体の道活用に関する社会実験

No	実施地域	実験の概要
1	神奈川県 藤沢市	【市街地活性化を目的としたオープンカフェの運営実験】 藤沢駅前のペDESTリアンデッキにおいて、駅北西部商店街との回遊性向上、藤沢駅自由通路の歩行者混雑解消のため、来街者が休息し、行動範囲を分散させられるようにオープンカフェを設置し、その有効性や課題について検証を行う。また、併せて、観光・生活関連のインフォメーションセンターを設置し、周辺商店街等への誘導を図る。
2	岐阜県 岐阜市	【鵜飼屋地区道路空間にぎわい創出による地域活性化実験】 金華山・長良川地域において、観光・交流人口の増加をはかるため、県道を歩行者天国として活用し、オープンカフェや屋台などを設置し、休憩スペースや憩いの場とすることで、にぎわい空間の創出を図る。
3	大阪府 寝屋川市	【水と緑と自転車が似合うおしゃれな駅前の賑わいづくり】 大阪市に隣接する北河内地域の住宅市街地において、商店街の活性化や駅前空間の持続的な美化活動につなげるために、オープンカフェなどを実施し、その有効性について検証を行う。また、放置自転車解消や自転車走行環境の向上と駅周辺の商業活性化のため、レンタサイクルや自転車利用のルール化を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
4	大阪府 大阪市	【御堂筋にぎわい空間づくり社会実験 ～道活用による地域主体のまちづくり～】 大阪のメインストリートである御堂筋とその周辺において、民官協働の持続的なまちづくり組織を形成し、迷惑駐輪対策や環境美化活動を行う。このような活動をアピールするため、道路空間活用のイベントを実施する。
5	兵庫県 神戸市	【三宮地区道路活用実験】 地域と行政で協働のまちづくりを進めている三宮中央通り等において、賑わいの創出や地域活性化を図るため、広幅員の歩道上でオープンカフェを実施し、その有効性や課題について検証を行う。

(2) 路上工事縮減等に関する社会実験

No	実施地域	実験の概要
1	大阪府 大阪市	ごとび 【五十日における車線規制を伴う工事の規制（中止）実験】 交通渋滞が増大する「五十日（取引先間の支払い日である、月のうち『五』、『十』がつく日）」の昼間に行われる路上工事を原則中止することにより、渋滞緩和に効果や有効性、課題等について検証する。

平成 16 年度 社会実験実施地域一覧
(今回追加地域のみ)



← オープンカフェ等地域主体の道活用

← 路上工事縮減等

オープンカフェ等地域主体の道活用に関する社会実験

【施策の概要】

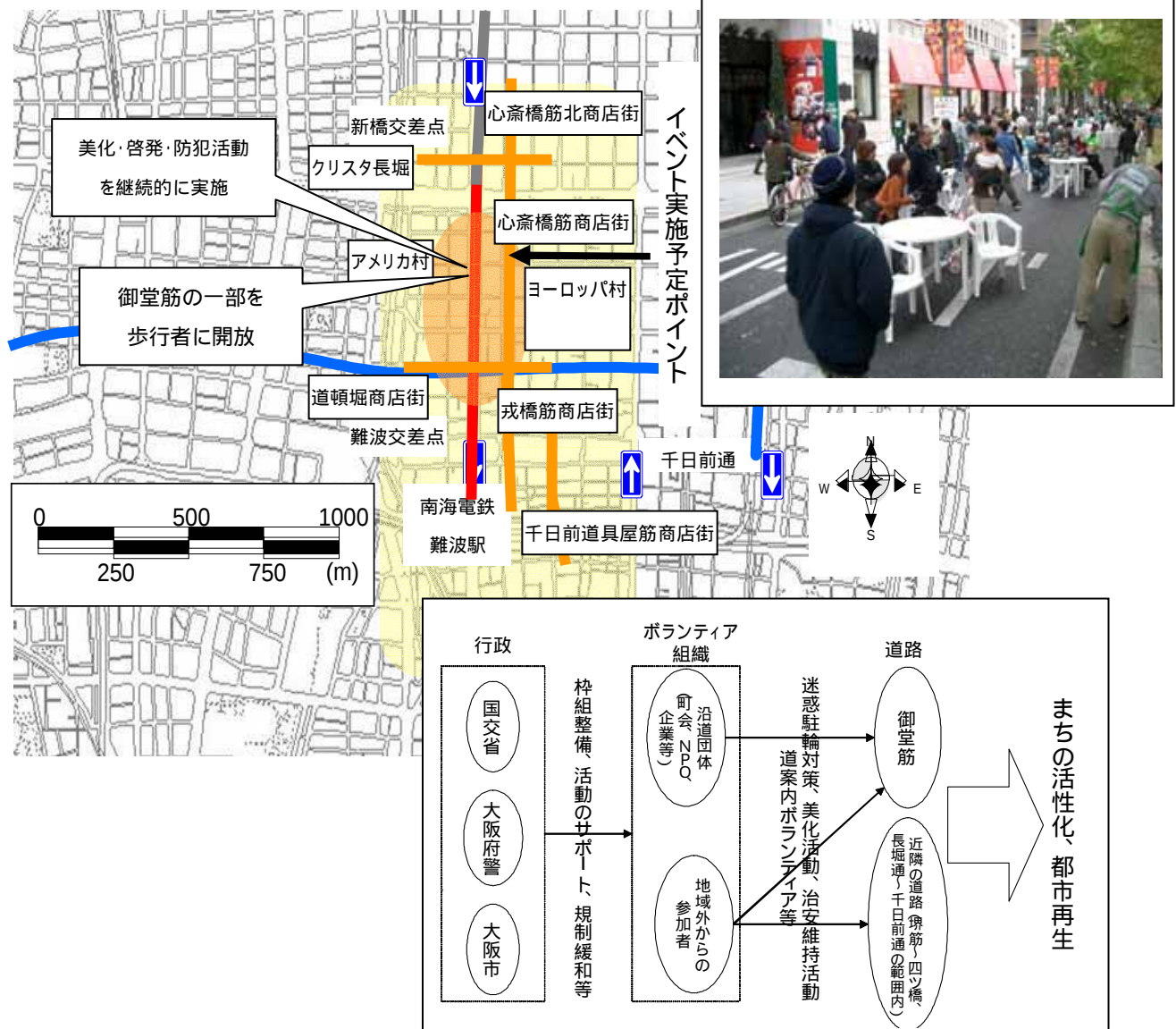
既存の公共施設を、民間や地域の知恵で有効活用することは重要であり、なかでも、道路の利活用については、街に活気を与えるイベントやオープンカフェなどの取り組みが各地で増加しつつあり、道路は多様な住民活動の場として高いポテンシャルを有すると考えられています。

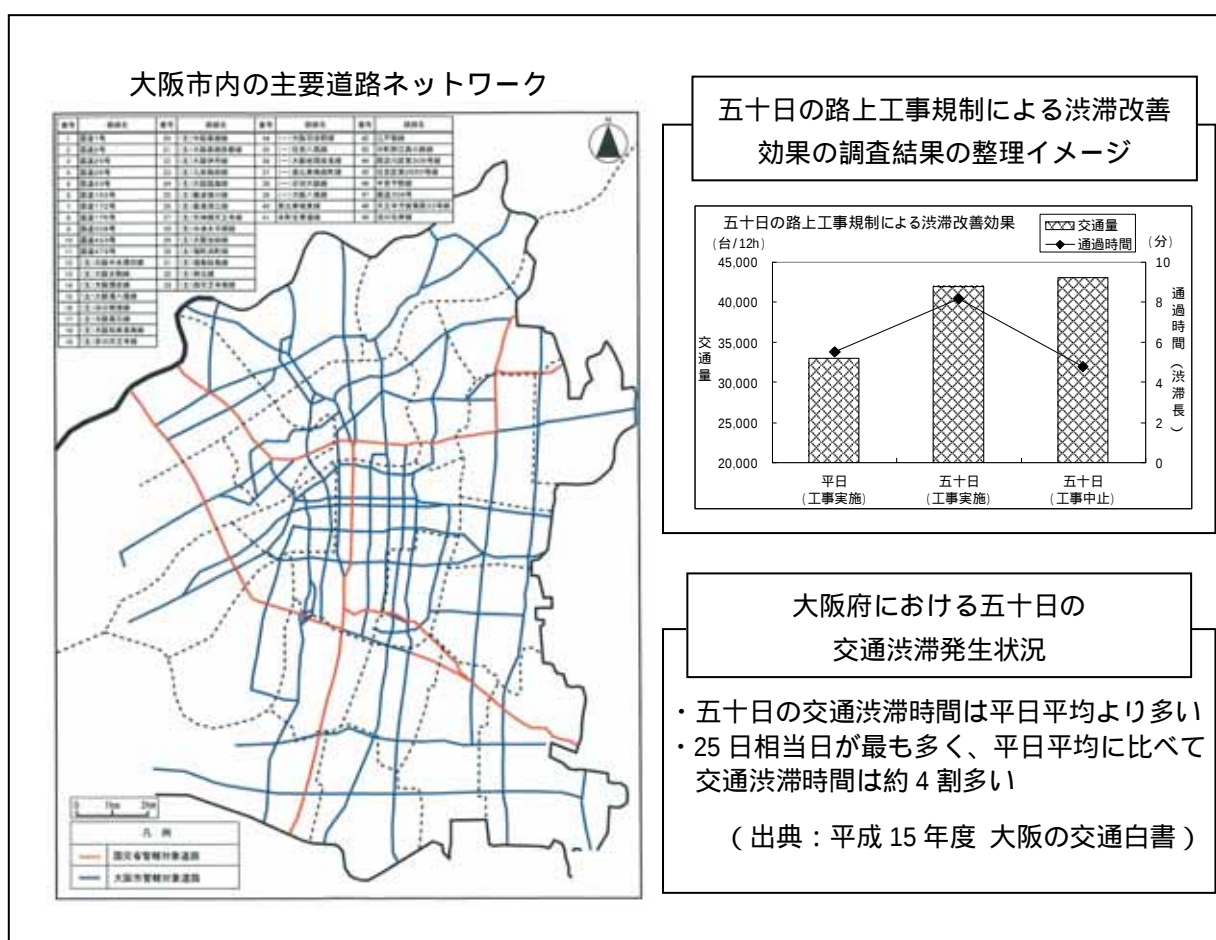
「オープンカフェ等地域主体の道活用」は、地域の住民団体やNPO等が、地域のニーズや実情に応じて、道路空間をより柔軟に活用するなど、街の賑わい創出などの観点から、道を活用して継続的に行う地域活動（オープンカフェ、美化活動など）の円滑化を図る取り組みです。

【代表事例】

大阪府大阪市（御堂筋ブランドの発信を通じた地域主体のまちづくり）

大阪のメインストリートである御堂筋とその周辺において、民官協働の持続的なまちづくり組織を形成し、迷惑駐輪対策や環境美化活動を行います。このような活動をアピールするため、道路空間活用のイベントを実施します。





平成 16 年度 社会実験実施地域の検討経緯について

平成 16 年度社会実験の実施地域の検討経緯は下表のとおり、「社会実験の推進に関する懇談会（座長：東京海洋大学 高橋洋二教授）」を開催し、実験内容等について御意見をいただきました。

平成 16 年度 社会実験実施地域の検討経緯

3 月 2 日	公募要領公表
4 月 1 日	公募開始
4 月 28 日	公募締め切り
6 月 10 日	社会実験の推進に関する懇談会開催
7 月 1 日	プレスリリース
8 月 4 日	プレスリリース（追加地域）

平成 16 年度 社会実験実施地域の概要

【平成 16 年度 応募主体別応募件数】

年 度 応募主体	H16		
	応募件数	実施件数	
		7/1	今回
地方自治体	16	11	3
地方自治体が主体となっている協議会等	8	3	2
NPO や民間等が主体となっている協議会等	11	9	1
計	35	23	6

【これまでの応募主体別応募件数】

年 度 応募主体	H11		H12		H13		H14		H15	
	応募 件数	実施 件数	応募 件数	実施 件数	応募 件数	実施 件数	応募 件数	実施 件数	応募 件数	実施 件数
地方自治体	8	4	14	4	25	13	27	11	18	10
地方自治体が主体となっている協議会等	5	2	7	4	1	0	3	1	10	6
NPO や民間等が主体となっている協議会等	1	0	4	1	10	3	6	2	11	4
計	14	6	25	9	36	16	36	14	39	20

【平成 16 年度 テーマ別応募件数】

年 度 応募主体	H16		
	応募件数	実施件数	
		7/1	今回
くらしのみちゾーン・トランジットモールの社会実験	10	9	0
オープンカフェ等地域主体の道活用に関する社会実験	21	14	5
路上工事縮減等に関する社会実験	4	0	1
計	35	23	6

【これまでのテーマ別実施件数】

年 度 テーマ	H11	H12	H13	H14	H15
	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
道路空間の使い方	1	1	2	2	12
公共交通の利用促進	4	3	3	1	1
観光地の交通円滑化	1	1	3	3	1
自転車利用環境の向上	0	3	1	3	1
物流・駐車対策	0	1	3	0	2
高速道路の有効活用	0	0	2	2	-
その他の施策	0	0	2	3	3
計	6	9	16	14	20

注：高速道路の有効活用については、平成 15 年度より、有料道路の社会実験へ移行。

平成 16 年度 社会実験実施地域一覧

(1) くらしのみちゾーン・トランジットモールの社会実験

No	実施地域	実験の概要
1	岩手県 紫波町	【過去と未来が循環する人にやさしい街づくり実験】 幅員が狭く歩道のない中心商店街通りにおいて、歩行者・自転車の安全性、快適性の向上を図るため、車道幅を縮小して歩道を確保し、路線バス以外の大型車の進入禁止、ハンプの設置による速度抑制を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
2	山形県 大江町	【もてなしとにぎわいの街道づくりを目指した交通実験】 大江町の中心市街地である左沢地区において、歩道が狭い中心商店街の賑わいを取り戻し、安全性を向上するため、道路のスラローム化に加え、歩道を広げるとともに、イベントを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
3	東京都 渋谷区	【原宿神宮前くらしの道およびオープンカフェ等社会実験】 原宿神宮前地区の地元商店街において、通過交通の抑制を図るためのソフト面の取組みとともに、地域の活性化を図るため、イベントやオープンカフェを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
4	東京都 目黒区	【トランジットモールと楽しく、安全に歩ける歩行空間創出実験】 道路幅員が狭く、違法駐輪があふれている自由が丘地区において、歩行環境の向上や交通利便性の向上を図るため、自動車進入抑制、共同集配システムの導入、小規模駐輪場の分散設置などを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
5	石川県 野々市町	【歴史的な補助幹線道路の歩車共存化に向けた交通社会実験】 歴史的な道路（旧北國街道）において、通過交通の低減や歩行回遊性の向上を図るため、イメージ歩道、狭さく、ハンプ等の設置を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
6	大阪府 岸和田市	【気軽にちょっと覗きたくなる祭都空間（道くさ空間）づくり実験】 交通渋滞の慢性化や回遊行動の欠如等によって都市的魅力が低迷している中心市街地において、街の活性化を図るため、レンタサイクルの導入、歩行者専用道路におけるオープンカフェを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
7	大阪府 堺市	【自転車のまち堺における「自転車力」を活かすためのまちづくり実験】 自転車のまち堺において、観光を含めた地域交流の促進、駅周辺の環境の向上及びまちづくりに対する市民意識の向上を図るため、歩道上の物理的に分離された自転車走行空間の創出や駐輪場への誘導等を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
8	大阪府 豊中市	【「歩いて暮らせるまち“そね” みちづくりプロジェクト」】 大阪市のベッドタウンである住宅地区において、歩行者主体の安全・安心な交通環境の創造や住民による主体的な取組みとしてメインストリートの活性化を図るため、通過交通や車両速度の抑制、一方通行化等を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
9	島根県 津和野町	【平成 16 年度 人と環境にやさしい交通社会実験】 観光地津和野において、歩行者や自転車利用者の安全性・快適性を向上させるとともに、地域住民と観光客との交流機会の増加や賑わいの創出を図るため、トランジットモール、オープンカフェ、パーク＆ライドなどを実施し、その有効性や効果について検証を行う。

(2) オープンカフェ等地域主体の道活用に関する社会実験

No	実施地域	実験の概要
1	北海道 札幌市	【人と環境を重視した道路空間の再現】 人・自転車・自動車が混ざりとなった交通状況を改善するため、ＪＲ札幌駅前の駅前通りにおいて、自転車走行レーンの設置など道路空間を再配分する実験を行い、その有効性や課題について検証を行う。また、官民の協働による街づくりのため、地元が中心となったオープンカフェの実施や地元と協力して路上駐輪場の整理整頓を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
2	岩手県 盛岡市	【盛岡シネマタウン社会実験】 多数の映画館が立地する中心市街地において、「歩いて楽しむ街」として街の魅力を向上させるため、映画館通りの映画祭等とあわせて、大通りのバストラジックモールとオープンカフェを実施し、その有効性や課題について検証を行う。また、周辺駐車場へレンタサイクルを配備し、中心市街地へのパークアンドサイクルライドの促進を図る実験を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
3	岩手県 東和町	【「にぎわいの“みち”・暮らしの歩道」協働型創出実験】 東和町の中心市街地の商店街通りにおいて、将来の歩道整備を念頭に、地権者の自主的なセットバックによる道路空間の有効活用を図るため、地域主体の道路空間の維持管理体制構築に向けて、仮設歩行空間創出、歩行者天国化、オープンカフェ等の道路の利活用に関する実験を行い、その有効性や課題の検証を行う。
4	秋田県 六郷町	【地域連携サイクルマネジメントによる活性化実験】 中山間地域の六郷町、千畑町、仙南村の３町村（合併予定）において、メインストリートとなる中心市街地の賑わいを創出するため、自転車歩行者専用空間を設ける実験を行い、その有効性や課題について検証を行う。また、町村合併に向け地域間交流の充実のため、サイクリングコースの設定とともに、自転車休憩所やレンタサイクルの設置等を行い、住民の連携・交流を図る。
5	福島県 郡山市	【郡山にぎわい・夢カフェ社会実験】 郡山市中心市街地の「なかまち夢通り」において、街の魅力を高め、賑わいを創出するため、オープンカフェを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
6 (追加)	神奈川県 藤沢市	【市街地活性化を目的としたオープンカフェの運営実験】 藤沢駅前のペデストリアンデッキにおいて、駅北西部商店街との回遊性向上、藤沢駅自由通路の歩行者混雑解消のため、来街者が休息し、行動範囲を分散させられるようにオープンカフェを設置し、その有効性や課題について検証を行う。また、併せて、観光・生活関連のインフォメーションセンターを設置し、周辺商店街等への誘導を図る。
7	新潟県 新潟市	【公共空間の有効活用による賑わい創出実験「みちと水辺のオープンカフェ」】 新潟市のシンボルとなっている萬代橋を核として、中心市街地の賑わいの創出を図るため、オープンカフェやイベントを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
8	新潟県 能生町	【能生町 中心市街地活性化 社会実験 - 道の駅といっしょに にぎわうのう - 】 能生町の中心商店街において、歩行者天国を実施するとともに、路肩等を彩色するなど彩りある道路景観形成を実施し、あわせて道の駅から商店街へ来訪者を呼び込むためのレンタサイクル等を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
9	富山県 富山市	【公共空間の活用による賑わいと回遊性の創出実験】 富山市の中心市街地において、賑わいの創出を図るため、オープンカフェやイベントを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
10	愛知県 名古屋市	【歩行者空間の地域共同による活用・管理促進社会実験】 名古屋中心部の久屋大通等において、歩行者空間を地域が共同で管理していく体制を構築するため、歩道上の休憩施設の設置・運営や清掃活動などを実施し、その運営システムの検証を行う。 また、安全・安心・快適な歩行者空間を実現するためのＩＴＳ技術を活用した歩行者案内サービスについても検証を行う。

No	実施地域	実験の概要
11	岐阜県 岐阜市	【光と緑あふれる歩行者空間創出実験】 岐阜市の2大商業地区（岐阜駅周辺地区と柳ヶ瀬地区）を結ぶ玉宮通りにおいて、魅力的な歩行者空間の創出による市街地の再生を図るため、オープンカフェ等を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
12 (追加)	岐阜県 岐阜市	【鵜飼屋地区道路空間にぎわい創出による地域活性化実験】 金華山・長良川地域において、観光・交流人口の増加をはかるため、県道を歩行者天国として活用し、オープンカフェや屋台などを設置し、休憩スペースや憩いの場とすることで、にぎわい空間の創出を図る。
13	大阪府 茨木市	【茨木・宇野辺駅周辺地区複合モビリティポート社会実験】 大阪モノレール宇野辺駅～JR茨木駅の区間において、道路や駅前空間の魅力を高め、地域の活性化に資するとともに、自動車に頼らない交通利便性を高めるため、駅および大規模商業施設において、オープンカフェ、イベント、レンタサイクル、レンタルショッピングカート等を行い、その有効性や課題について検証を行う。併せて、交通問題に関するパネル展示等を実施し、啓発活動を行う。
14 (追加)	大阪府 寝屋川市	【水と緑と自転車が似合うおしゃれな駅前の賑わいづくり】 大阪市に隣接する北河内地域の住宅市街地において、商店街の活性化や駅前空間の持続的な美化活動につなげるために、オープンカフェなどを実施し、その有効性について検証を行う。また、放置自転車解消や自転車走行環境の向上と駅周辺の商業活性化のため、レンタサイクルや自転車利用のルール化を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
15 (追加)	大阪府 大阪市	【御堂筋にぎわい空間づくり社会実験 ～道活用による地域主体のまちづくり～】 大阪のメインストリートである御堂筋とその周辺において、民官協働の持続的なまちづくり組織を形成し、迷惑駐輪対策や環境美化活動を行う。このような活動をアピールするため、道路空間活用のイベントを実施する。
16 (追加)	兵庫県 神戸市	【三宮地区道路活用実験】 地域と行政で協働のまちづくりを進めている三宮中央通り等において、賑わいの創出や地域活性化を図るため、広幅員の歩道上でオープンカフェを実施し、その有効性や課題について検証を行う。
17	福岡県 福岡市	【「憩いと魅力」の道路文化創造社会実験～天神モデルの形成と発信～】 都市型観光拠点として発展している福岡・天神地区において、道路の憩いと魅力を創造し、来街者の満足度向上を図るため、歩行者天国やオープンカフェと同時に地域が主体となった道路管理活動を一体的に実施し、その有効性や課題について検証を行う。
18	宮城県 椎葉村	【椎葉村道空間有効活用（道のミニオアシス（仮称））社会実験】 道路整備が遅れている中山間地域の観光地において、観光客や地域住民にとって賑わいのあるメインストリートを創出するため、既存の道路空間を交通規制により「道のミニオアシス（仮称）」とし、観光施設間の周遊性を高めるとともに情報交流の場として活用を行い、その有効性や課題について検証を行う。
19	鹿児島県 鹿児島市	【天文館中央地区アメニティ空間づくり社会実験～道路空間の新たな活用による中心市街地の再生～】 鹿児島市の中心市街地において、地域の賑わいづくりと、道路の維持管理における官民役割分担を検討するため、オープンカフェやイベント、およびNPOによる道路清掃パトロールや地域住民による花いっぱい活動を実施し、その有効性や課題について検証を行う。

(3) 路上工事縮減等に関する社会実験

No	実施地域	実験の概要
1 (追加)	大阪府 大阪市	【 ^{ごとび} 五十日における車線規制を伴う工事の規制（中止）実験】 交通渋滞が増大する「五十日（取引先間の支払い日である、月のうち『五』『十』がつく日）」の昼間に行われる路上工事を原則中止することにより、渋滞緩和に効果や有効性、課題等について検証する。